

【商品情報】

デンソーワインセーバーが、経済産業省のメルマガジン

「技術のおもて側、生活のうら側」に掲載されました。(以下、原文)

産業技術メールマガジン 技術のおもて側、生活のうら側（第78号）12月25日発行

◆技術のおもて側、生活のうら側

こんにちは。ご愛読いただき、心より感謝いたします。
このメルマガでは、身近な生活シーンから、社会生活に密着した産業技術を生活者の目線で紹介していきます。私たちの暮らしを支える産業技術を身近に感じていただければ幸いです。

◆ワインを美味しく美しく

日本は現在、第7次ワインブームと言われている。最近の国内市場は、原産国が一層多様化し、国産ワイナリーの評価も向上するなど、極めてバラエティに富んだワインを楽しめる環境にある。クリスマスに、家庭でワインを召された方もいることだろう。

アルコールへの耐性が比較的弱い日本人として困るのは、必ずしも一晩で1本飲み干してしまえないこと。一度栓を開けてしまえば、時間の経過とともに酸化が進む。とある週末に飲み干せなかった残りを次の週末に味わっても、本来の美味は変化してしまう。

酸化防止のため、ビンの内部から空気を抜くポンプが市販されているが、この市場に新規参入したのが、自動車部品大手として知られる株式会社デンソーだ。

後発商品を世に出す際は、先行する他社の商品群を上回る魅力を持たせるのが、ビジネスのセオリーである。まずは、デンソーが車内空調等で培った技術を活用し、真空度を7日間維持できる性能を持つ試作品を作り上げた。

同時に重要なのはデザイン。無骨な筒でしかなかった試作品を、消費者に「欲しい！」と言わせる商品にするために採用されたのは、ワインのコルク抜きを優雅な曲線でくんだイメージのT字型デザインだった。

扱う際の持ちやすさも採用する上でのポイントだが、商品の開発コンセプトに、用品にも凝るワイン愛好家向けという視点もあったため、ワインボトルの曲線にフィットする嗜好性の高い美観が、当然のこととして重視されたという背景もある。

個人的な見解だが、ブルゴーニュ産ワインに使われる“なで肩”ボトルとの親和性がより高いという印象で、ボトルやグラスと並べても全く違和感を覚えない。グッドデザイン大賞を受賞した同社製産業用ロボットにも通じる曲線美が特徴だ。

デザインが決まったところから、開発部門の仕事が再開した。試作時点にはなかった「このデザイン、このサイズ内に内部構造を収める」という制約が生じたためだ。しかも、やり繰り返してとにかく収めればいい、というものでもない。

この商品は、ワインボトルに専用の栓を差し込んだ後、その上に装置本体を乗せるだけで自動的に空気を抜き始める仕掛けになっている。このため、栓の上に安定的に乗る構造と、手で支えなくても倒れない重量バランスの確保も要求された。

さらに、せっかくのデザインを崩すことなく、真空化作業の完了をどのようにユーザーに表示するかも課題になった。滑らかなシェイプの一面に表示用の小窓を設けるような野暮はできない。熟慮の結果、電池収納部の蓋と本体の境界線の、本体を一周する隙間に薄くライトを設置し、その点滅で真空度を知らせる仕組みにしたが、どの方角からも確認できる構造づくりとコスト抑制の両立に苦慮したという。

次頁に続く

それにしても、なぜデンソーがワインなのか。

聞けば、同社の空調技術を応用した製品として、20年近く前から関係会社にて一定の温度に保つワインセラーを製造・販売し続けているという。また、多数の諸外国で事業活動を行なっているデンソーとして、活動拠点のある地元への貢献もできないかとの観点から、デンソーセールスを介してワインを輸入し、社内外関係者へ紹介するなど、もともとワインには馴染みがあった。

自社技術を自動車関連以外にも展開させる取組の一環でもあるが、売上げの98%以上が業務用という同社が、敢えて消費者向け商品を手がけたのは、消費者との接点を創ることを重んじた結果でもある。

また、分業体制が基本の自動車部品の開発と異なり、消費者向け商品の開発に携わる技術者は、工程の一から十まで関わることになる。モニター販売したユーザーからクレームが寄せられた時、開発責任者がすべきことは、担当部署への改善依頼でなく、自身の頭で改善策を考え、手を動かすことだ。

デンソーでは、主力の自動車部品の開発では得られない経験をさせることが、組織や人材を一層強くすると認識している、という。

余裕のある大企業でしかできないこと、との指摘はあるかもしれないが、古来、イノベーションは異分野との接点から生まれると言われる。思わず引き込まれる優美な本製品をみると、デンソーの“次”に期待したくなる。

この製品が家にあれば、クリスマスに楽しんだワインを、フレッシュさを落とさずお正月にも味わえる。ワイン愛好家の皆様、味わい方の幅を広げられそうですよ。

<取材協力>

株式会社デンソー

取締役専務役員 伊藤 正彦

アフターマーケット事業部自動車部品部技術・調達室長 佐々木繁久

アフターマーケット事業部自動車部品部技術・調達室 担当課長 奥村 弘幸

東京支社技術渉外担当次長 武馬 圭一

デザイン部市場開発室デザイン推進課 金 智慧

株式会社デンソーセールス

住設事業部販売推進室販売推進1課 課長 近藤 崇央

■バックナンバー

http://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/innovation_policy/m-magazine.htm

■PCからの配信登録

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/index.html

■携帯からの配信登録

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/k_index.html

■PCからの配信中止

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/kaiyaku.html

■携帯からの配信中止

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/k_kaiyaku.html

■記事へのご意見

innovation-policy@meti.go.jp

発行：経済産業省産業技術環境局産業技術政策課 担当／執筆：島津、木村、田部 井
〒100-8901東京都千代田区霞が関1-3-1
電話：03-3501-1511(代表)

ワインセラー製品情報 http://www.denso-sales.co.jp/product/household_34.html

リリースに関するお問い合わせ先

株式会社デンソーセールス
経営企画室 法務・広報課 中村
TEL 03-6367-9663 (代表)

商品についてのお問い合わせ先

■お客様窓口 TEL 03-6367-3808
■受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
■担当 佐藤、大野